

森友学園の小学校は？

写真上は昨年3月5日、大阪府豊中市に建てられた学校法人「森友学園」の小学校。確か入学説明会の日であり、多くの報道陣が詰めかけていた。大阪に行った折に、阪急電車の庄内駅から地図を片手に訪ねた。

それから10ヶ月近くが経ち、大阪に転居してから、自転車に乗って行って見た。地図を見ると、森友の小学校は自宅からそんなに遠くないことが分かり、寒いなか神崎川を渡り再度訪ねた。校舎には大きく「瑞穂の國記念小学院」と表記されていた。



年末の寒い日であったこともあり、学校周辺は閑散としていた。利用されない真新しい校舎は、なんだか寂しげな感じであった。頭上をかすめる大きな飛行機の騒音が、静けさを吹き飛ばすようだった。校庭の一部は「野田中央第2公園」になっていた。柵に囲まれた校庭の一角に、「産業廃棄物保管場所」の表示もあった。



昨年11月22日、参議院の要請で、国有地の売却交渉を担当した財務省近畿財務局、国交省大阪航空局などを調査していた会計検査院が報告書を公表した。



森友学園への国有地8億円の値引き売却について、会計検査院は「(値引きの)根拠不十分」とした。国は問題の国有地8770㎡について、鑑定価格9億5千万円から地中のごみ1万9千トンの撤去費用として8億円余りを値引きして、1億3千万円で売却した。ごみ1トンあたりの処理単価は2万2500円。会計検査院は報告書のなかで、ごみの量や処理単価などにも疑問を投げかけている。

国の独立行政機関である会計検査院も「根拠不十分」とした国有地ただ同然の売却。当時の資料・記録は破棄されていて、会計検査院は十分な検証ができないとも。政府は報告を「真摯に受け止め」、文書管理を改善すると言うが、問題は文書管理にとどまらない。なぜ、ただ同然の国有地売却が行われたかである。

2014年9月、安倍晋三首相夫人の昭恵氏がこの小学校の名誉校長に就任した。森友学園の籠池泰典前理事長は国会で「神風が吹いた」と証言している。それ以降、国有地売却交渉はトントン拍子で進んだ。当時の音声データなども明らかにされている。籠池夫妻は詐欺罪で逮捕・長期拘留されているが、昭恵夫人は平然と振舞っている。こんなことが許されているのか。寂しげな校舎を眺めながら、あらためて考えさせられた。

(2018年1月4日)